

岐阜チェンバー アンサンブル 第42回定期演奏会

2019.10.22.

(火曜/祝日)

14:00開演 (13:30開場)

PROGRAM

フィンジ 弦楽合奏のためのロマンス

J.S. バッハ ブランデンブルグ協奏曲第3番

ブランデンブルグ協奏曲第4番

バルトーク ルーマニア民族舞曲

ヤナーチェク 弦楽のための組曲

場所

OKBふれあい会館

サラマンカホール

(岐阜市藪田南5丁目14-53)

入場無料 全席自由

主催:岐阜チェンバーアンサンブル

後援:岐阜県教育委員会/岐阜市教育委員会

公益財団法人 岐阜県教育文化財団 助成事業

問い合わせ: gifuchamber@gmail.com



岐阜チェンバーアンサンブルは、昭和47年に県内唯一の弦楽アンサンブルとして結成された市民楽団です。その後弦楽合奏の愛好家の集まりとして岐阜市内で40年以上にわたり継続して活動してきました。私たちは月に二度の練習で互いに合奏の技術を磨きつつ、年に一回の定期演奏会の他、病院や公民館でのミニコンサートなどで演奏活動を行っています。弦楽器とチェンバロのみという楽器の構成ですので、バロック音楽を基調としますが、ロマン派や現代音楽にも積極的に取り組んでいます。ここ数年は指揮者を置かずに演奏するスタイルで修練を積んでいます。

ソリスト紹介



ヴァイオリン

村中一夫 岐阜市出身。国立東京芸術大学附属音楽高等学校卒業。国立東京芸術大学在籍中2年でドイツニュールンベルグ音楽院に留学。1973年コプレッツ市立歌劇場オーケストラ副コンサートマスター。1975年北ドイツ放送局フィルハーモニー管弦楽団第一ヴァイオリン奏者。

弦楽四重奏、ソロ、タンゴアンサンブルなどでも活動し、2枚のCDが日本ビクターから発売されている。2013年11月帰国。2014年高山室内合奏団とメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲、クリスティアン・シンディングのヴァイオリン組曲ソロを、岐阜チェンバーアンブルとは2015年にヴィヴァルディ調和の靈感を、2016年にはヴィヴァルディ四季などをソリストとして共演。



リコーダー

宮崎紗耶加 国立音楽大学音楽科卒業。在学中、第29回国立音楽大学vocal concertに出演。同大学大学院オペラ出演。卒業後、劇団ピュアーマリー公演ミュージカル『青い鳥』8月東京公演、11,12月地方公演に出演。2019年9月より劇団夢団にて小中学校の芸術鑑賞会ミュージカル作品の全国公演に出演中。

また10歳から18歳まで全日本リコーダーコンテストに出場し、金賞を4度、銀賞を4度受賞。2014年同コンテストソロの部において金賞および花村賞を受賞。目黒リコーダーオーケストラ団員。13歳でアンサンブルで韓国にて、22歳でオーケストラで台湾にて公演を行う。東京リコーダー協会講師。現在は舞台女優、リコーダー奏者として活動する傍らブライダル聖歌隊としても活動中。



リコーダー

岩田龍明 2013年より、リコーダーを吉澤実に師事。2014年より2018年まで都留音楽祭に参加し、リコーダーのソロ・アンサンブルだけでなく、古楽アンサンブルに参加し研鑽を積む。2018年7月にはリコーダー奏者として、東京オペラシティ近江楽堂でCapriccio×中村栄宏のアンサンブルに参加。エヴァレジェーヌ、濱田芳通、エリックボースグラフ、ワルターファンハウヴェなど、国内外の奏者のリコーダーマスタークラスを受講。

第25回全日本リコーダーコンテスト大学生の部独奏、第29回全日本リコーダーコンテスト一般の部独奏に出場。現在は、岐阜聖徳学園大学附属小学校教諭として勤務をしながらリコーダーの研鑽と演奏活動を積極的に行っている。